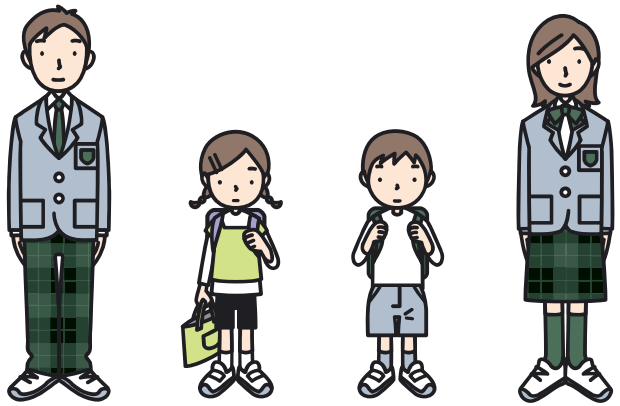
北海道庁

「令和７年度 北海道こどもの意見反映推進事業」

実施委託業務

報告資料



令和８年２月20日

こどもの意見反映推進事業（対面実施）の全体図

～6月　協力校及び実施テーマの決定

- 学校名 P2
- 実施テーマ P3

7月～11月　意見交換（ファシリテーターの進行により、説明資料に基づき、各校1～2テーマで意見交換）

- ファシリテーションのポイント P4
- ファシリテーターのえらび方 P5
- 意見交換のすすめ方 P6
- 説明資料のつくり方 P7

※ 協力校以外の生徒を対象としたインターネットアンケートについても、並行して実施

↓ テーマ所管の各部局で意見を読み、施策への反映について検討

2月　実施結果の報告、意見のフィードバック

- 報告資料（この資料）
- 各テーマ報告資料（別紙）よみ方 P8
- 【道ホームページで公開】
  各テーマ意見反映結果フィードバック資料
  各テーマ意見一覧

協力校一覧（きょうりょくこういちらん）

（実施期間（じっしきかん） 令和7年（れいわねん）7月（がつ）23日（にち）～11月（がつ）28日（にち））

【小（しょう）・中（ちゅう）・高校（こうこう）】

地域（ちいき）	小学校（しょうがっこう）	中学校（ちゅうがっこう）	高等学校（こうとうがっこう）
空知（そらち）	夕張市立ゆうばり小学校（ゆうばりしりつしょうがっこう）	奈井江町立奈井江中学校（ないえちょうりつないえちゅうがっこう）	北海道深川西高等学校（ほっかいどうふかがわにしこうとうがっこう）
石狩（いしかり）	江別市立江別第二小学校（えべつしりつえべつだいにしょうがっこう）	石狩市立厚田学園（後期課程）（いしかりしりつあつたがくえん こうきかてい）	北海道北広島高等学校（ほっかいどうきたひろしまこうとうがっこう）
後志（しりべし）	小樽市立長橋小学校（おたるしりつながはししょうがっこう）	岩内町立岩内第一中学校（いわないちょうりついわないだいいちちゅうがっこう）	北海道倶知安農業高等学校（ほっかいどうくっちゃんのうぎょうこうとうがっこう）
胆振（いぶり）	登別市立幌別小学校（のぼりべつしりつほろべつしょうがっこう）	安平町立追分中学校（あびらちょうりつおいわけちゅうがっこう）	北海道室蘭清水丘高等学校（ほっかいどうむろらんしみずがおかこうとうがっこう）
日高（ひだか）	浦河町立荻伏小学校（うらかわちょうりつおぎふししょうがっこう）	えりも町立えりも中学校（ちょうりつ ちゅうがっこう）	北海道浦河高等学校（ほっかいどううらかわこうとうがっこう）
渡島（おしま）	福島町立福島小学校（ふくしまちょうりつふくしましょうがっこう）	知内町立知内中学校（しりうちちょうりつしりうちちゅうがっこう）	北海道函館西高等学校（ほっかいどうはこだてにしこうとうがっこう）
檜山（ひやま）	厚沢部町立厚沢部小学校（あっさぶちょうりつあっさぶしょうがっこう）	江差町立江差北中学校（えさしちょうりつえさしきたちゅうがっこう）	北海道上ノ国高等学校（ほっかいどうかみのくにこうとうがっこう）
上川（かみかわ）	富良野市立東小学校（ふらのしりつひがししょうがっこう）	美瑛町立美瑛中学校（びえいちょうりつびえいちゅうがっこう）	北海道名寄高等学校（ほっかいどうなよろこうとうがっこう）
留萌（るもい）	増毛町立増毛小学校（ましけちょうりつましけしょうがっこう）	初山別村立初山別中学校（しょさんべつそんりつしょさんべつちゅうがっこう）	北海道苫前商業高等学校（ほっかいどうとままえしょうぎょうこうとうがっこう）
宗谷（そうや）	稚内市立潮見が丘小学校（わっかないしりつしおみ おかしょうがっこう）	稚内市立天北中学校（わっかないしりつてんぽくちゅうがっこう）	北海道枝幸高等学校（ほっかいどうえさしこうとうがっこう）
オホーツク	訓子府町立訓子府小学校（くんねっぷちょうりつくんねっぷしょうがっこう）	湧別町立ゆうべつ学園（ゆうべつちょうりつ がくえん）	北海道常呂高等学校（ほっかいどうところこうとうがっこう）
十勝（とかち）	清水町立御影小学校（しみずちょうりつみかげしょうがっこう）	中札内村立中札内中学校（なかさつないそんりつなかさつないちゅうがっこう）	北海道上士幌高等学校（ほっかいどうかみしほろこうとうがっこう）
釧路（くしろ）	釧路町立遠矢小学校（くしろちょうりつとおやしょうがっこう）	浜中町立茶内中学校（はまなかちょうりつちゃないちゅうがっこう）	北海道白糠高等学校（ほっかいどうしらぬかこうとうがっこう）
根室（ねむろ）	羅臼町立春松小学校（らうすちょうりつしゅんしょうしょうがっこう）	標津町立標津中学校（しべつちょうりつしべつちゅうがっこう）	北海道別海高等学校（ほっかいどうべつかいこうとうがっこう）

【特別支援学校（とくべつしえんがっこう）】

障がい種別（しょうがいしゅべつ）	特別支援学校（とくべつしえんがっこう）
視覚障がい（しかくしょう）	北海道札幌視覚支援学校（ほっかいどうさっぽろしかくしえんがっこう）
聴覚障がい（ちょうかくしょう）	北海道札幌聾学校（ほっかいどうさっぽろろうがっこう）
知的障がい（ちてきしょう）	北海道札幌あいの里高等支援学校（ほっかいどうさっぽろ さとこうとうしえんがっこう）
肢体不自由（したいふじゆう）	北海道真駒内養護学校（ほっかいどうまこまないようごがっこう）
病弱（びょうじゃく）	北海道手稲養護学校（ほっかいどうていねようごがっこう）

意見交換（いけんこうかん）テーマごとの実施校数（じっしこうすう）・参加人数（さんかにんずう）

テーマ名	小学校		中学校		高等学校		特別支援学校		合計（※）	
	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数	校数	人数
こどもの居場所とは?	1校	29人	2校	63人	2校	55人	1校	3人	**6校**	**150人**
北海道総合教育大綱について考えよう	1校	23人	1校	9人	3校	63人	ー	ー	**5校**	**95人**
住み続けたい北海道にするためには?	2校	30人	1校	18人	1校	6人	ー	ー	**4校**	**54人**
人とヒグマが安心して暮らすために	2校	69人	2校	64人	1校	17人	1校	3人	**6校**	**153人**
ヤングケアラーって知っている?	1校	22人	1校	57人	1校	5人	ー	ー	**3校**	**84人**
半導体人材の育成について考えよう	1校	33人	1校	14人	1校	36人	ー	ー	**3校**	**83人**
北海道の農業について考えよう	1校	24人	1校	10人	2校	36人	ー	ー	**4校**	**70人**
魚食の普及について考えよう	2校	85人	1校	12人	1校	19人	ー	ー	**4校**	**116人**
まちづくりのこれからとは?	2校	51人	4校	88人	1校	41人	3校	24人	**10校**	**204人**
“行きたい”と思える高校はどんな高校ですか?	1校	31人	2校	18人	1校	10人	1校	9人	**5校**	**68人**
合　計	**14校**	**397人**	**16校**	**353人**	**14校**	**288人**	**6校**	**39人**	**50校（47校）**	**1,077人（974人）**

（※）本事業は全47校、延べ974名を対象に実施しましたが、本表における校数及び人数は、複数テーマを実施した学校についてテーマ別に算出しており、重複計上を含みます。

Q ファシリテーションのポイントは？

どの学校でも、こどもからしっかり意見を聴けるように、次の考え方を大切にして意見交換を行いました。

1 目的と基本的な考え方

こどもの意見を尊重し、実際に政策に反映することで、「自分の意見には意味がある」と感じてもらい、社会に参加したい気持ちを高めることを目的としました。
また、こどもの権利を守り、安心して自分の考えを話せる環境を整えることを大切にしました。

2 こどもへの関わり方

こどもの年齢や成長の段階に合わせて、使う言葉や話の進め方を工夫しました。
どんな意見でも安心して話せるよう、意見を否定せず、自由に話しやすい雰囲気づくりを心がけました。
ファシリテーターは、こどもの話を途中でさえぎらず、共感しながら丁寧に話を聞くことを大切にしました。

3 安全への配慮

話し合いのルールや大切なことについて、こどもにもわかりやすく説明しました。
また、匿名で意見を出せるようにするなど、プライバシーの保護を徹底しました。
虐待やいじめの可能性が見られた場合には、あらかじめ整理した対応の流れに沿って、必要に応じて関係機関と連携できるようにしました。

Q ファシリテーターのえらび方は？

こどもたちが安心して自分の意見を話せる環境をつくるため、今回の意見交換会に最も適した8名の方を選びました。

選定にあたっては、昨年同じ事業を実施したときの例を参考にしながら、次のポイントを大切にしました。

1. 北海道に住んでいて、地域の文化や背景を理解していること。
2. 日頃から、仕事などでこどもと接している経験があること。
3. 教員免許など、こどもに関する専門的な知識やスキルがある場合は、評価のポイントとしました。

実際に選ばれたファシリテーターには、絵本とおもちゃの店の運営者、新聞の編集長、フリースクールの運営者、元教員、地域おこし協力隊など、さまざまな経験や背景を持つ、個性豊かな人たちが集まりました。

こうした多様なメンバーがそろったことで、こども一人ひとりの考えや気持ちに寄り添い、意見を大切にすることができました。
それぞれの経験や得意分野を生かしながら、
こどもたちが安心して自由に意見を出し合える場をつくりました。

Q 意見交換のすすめ方は?

どの学校においても、概ね次のような形で実施しました。

1 進行と体制

意見交換は、全体で概ね1時間程度を目安に実施しました。
こども10人に対して補助者を1名配置し、ファシリテーターは各回につき1名としました。

2 準備と環境づくり

会場はこどもがリラックスして参加できる場所を選び、大人は堅い服装は避け、
カジュアルで親しみやすい服装で参加しました。
模造紙、パステルカラーの付箋、水性ペン、白色の名札などを用意しました。

3 意見交換の流れ

① 意見交換の目的や進め方について、ファシリテーターからわかりやすく説明
② こどもの緊張をほぐすため、簡単な雑談やファシリテーターの自己紹介
③ 説明資料を使いながら、テーマについて説明
④ 思いついた意見を付箋に書いてもらう方式で、意見交換
⑤ 出された意見を発表し、内容をもとにさらに意見を深める話し合い
⑥ 最後に全体のまとめを行い、意見交換を終了

4 実施後の対応

意見を政策に反映できるか検討し、その結果をこどもたちにフィードバックしました。

Q 説明資料のつくり方は？

こどもたちがテーマの内容を理解し、自分の意見を持つきっかけとするために、10テーマに基づいた説明資料を作成しました。

年齢や発達の段階に配慮し、できるだけわかりやすく伝えることを重視しました。
やさしい日本語を使い、視覚的にも理解しやすいデザインとしました。
各テーマに関連する事例や質問を取り入れ、こどもたちが親しみを持って読めるよう工夫しました。

【小学生・特別支援学校生向け】

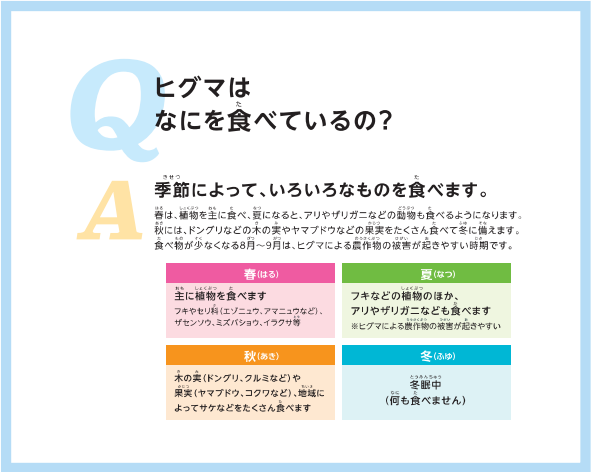
- 平易で短い文章を中心に構成
- 全ての漢字でルビ振り

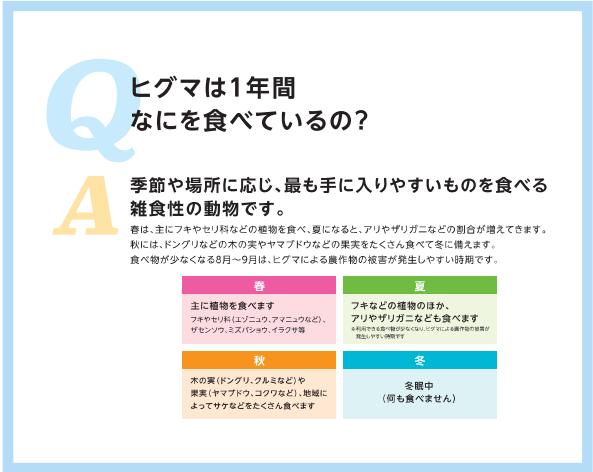
【中学生・高校生向け】

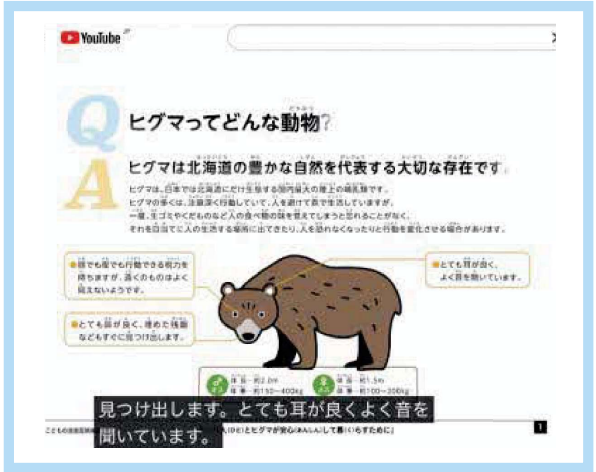
- 専門用語も使用
- ルビはなし

【動画（全世代共通）】

- 説明資料をそのまま読み上げ
- 事前学習ツールとして活用





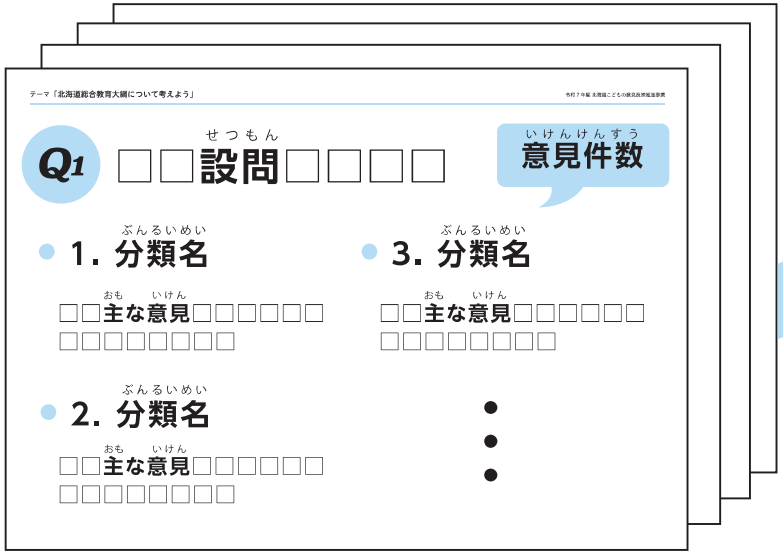


Q 報告資料のよみ方は?

どのテーマでも沢山意見をいただいたので、各設問で出された意見は、このように掲載しています。

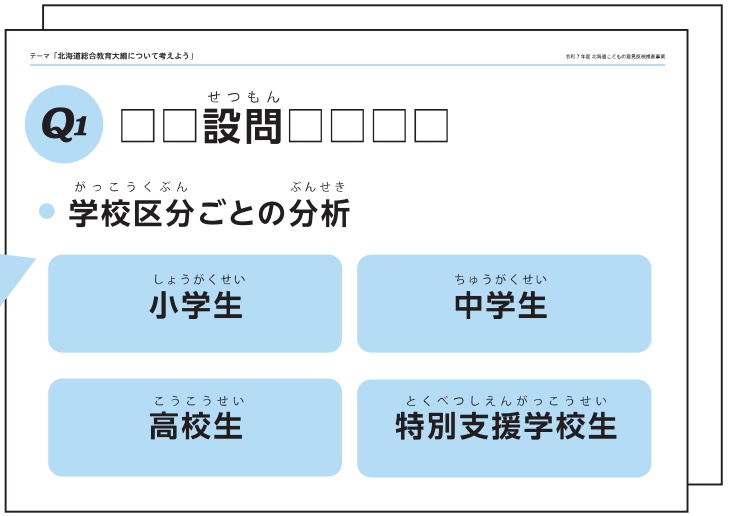
【方向性ごとの分類】

①各設問で出された意見を意見の方向性ごとに分類
②その分類の中の主な意見を掲載
③右上に、その設問で得られた意見の件数を掲載



【学校区分ごとの分析】

①各設問で出された意見を学校区分ごとに分析
②多かった意見や意見の傾向などを読み取り掲載



各テーマの意見数
報告資料・フィードバック資料の掲載URL一覧

テーマ名	意見数（対面実施）	報告資料・フィードバック資料 掲載URL
こどもの居場所とは?	1,390件	こどもの意見（１０テーマへの意見募集） https://www.pref.hokkaido.lg.jp/hf/kms/r6iken.html
北海道総合教育大綱について考えよう	535件	
住み続けたい北海道にするためには?	657件	
人とヒグマが安心して暮らすために	1,493件	
ヤングケアラーって知っている?	493件	
半導体人材の育成について考えよう	456件	
北海道の農業について考えよう	574件	
魚食の普及について考えよう	572件	
まちづくりのこれからとは?	3,480件	
“行きたい”と思える高校はどんな高校ですか?	974件	
合　計	**10,624件**	